

スマホの特徴

スマホでできることを図に示しました。生活を便利にするため、楽しく快適に生活するための用途がたくさんあります。情報の受発信の道具としてスマホを活用することにより、コミュニケーションや、シニアの社会参加に役立ちます。政府は災害時の安全性を確保するための情報インフラの端末としてスマホを位置付けています。最近になってスマホの新しい使い方も普及してきました。

- ・小口の代金の支払い
 - ・テレビと連動させて関連情報を取得
 - ・遠隔地からのシニアの見守り
 - ・農産物の育成を管理する農作業の支援
- などにも幅広く活用されるようになってきました。

少しでも経済的負担を軽くしよう

スマホを使いたいと思ったときに問題になるのは費用です。大手通信会社の提供するサービスでは、機器本体と通信費で月に7000円を超える費用が掛かるのはシニアにとって負担となります。しかし最近では、スーパーや家電量販店で「格安スマホ」が販売されています。機器の種類や通信の速度により価格の幅がありますが、当初2年間の支払いが月額3000円前後と、大手通信会社の半額程度でスマホが利用できるようになりました。契約する場合には、価格だけでなく通信速度などの条件についても十分に吟味しましょう。

シニアに優しくなった機能やデザイン

シニアができるだけ違和感なく快適に使えるように意図されたスマホ（らくらくスマートフォン3）があるので紹介します。シニアがよく使うと思われる用途を想定した多数のアプリが準備（プリインストール）され、使用頻度の高いメニューを優先して配列した画面デザインになっています。軽く画面に触れるだけでは操作したことにはならず、ある程度の力を入れて画面を押し込むことにより操作が認識され、誤操作を少なくしています。

日本語入力に関しては、ボタン自体は押しやすさに配慮して大きめで、入力方法が簡素化されており、一度入力したことを学習して適切な入力候補が表示されるようになっていくなど、使いやすくなっています。カメラ任せできれいな写真が撮れる、お孫さんの写真を自動でスマホの待ち受け画面に表示（家族の写真を共有）する、緊急時に大音量ブザーで知らせるワンタッチブザーなども装備されています。



らくらくスマートフォン3

写真提供：富士通

注意して使って安全の確保を

インターネットやメールは不要という声を聞くことがあります。実際、アプリのインストールやウェブの閲覧などを通じてコンピュータウイルスに感染する心配がありますので、パソコンやタブレットを利用するときと同じ注意が必要です。スマホは外出時に持ち歩くので、盗難や紛失に気を付けること、パスワードでロックを掛けて、他人が使用できなくするなどの対策をして使しましょう。

終わりに

わが国の60歳以上の方のスマホの利用率は22・5%※という調査データがあります。携帯電話からスマホに変更する費用負担は以前より少なくなっています。スマホでシニアライフに新しい世界を開いてみませんか。※「全国スマートフォンユーザー1000人定期調査」第9回分析結果報告（博報堂DYGグループ・スマートデバイス・ビジネスセンター調べ）

